

## 【ループリック】

評価	S	A	B	C
得点	20 点	14 点	6 点	0 点
<b>知識・理解</b>	世の中や人の考え方がどうなったから記号化が進んでいるのか、逆に記号化が進むことでどうなっていくのかという本質的なテーマを理解できている。	絵文字・スタンプから感情表現の変化や、駅番号からグローバル化といった、変化の背景まで理解できている。	「文字から文字以外への変化」がどういうことか、理解できている。	「文字から文字以外への変化」の意味が理解できていない
<b>思考・判断</b>	論述全体に明確なテーマがあり、そのテーマに沿った具体例の提示や根拠の説明ができています。	言語の記号化についてだけではなく、その背景となる事象についての意見を提示できている。	絵文字・顔文字・スタンプ・地下鉄の駅番号など、文字以外への変化の具体例を提示できている。	文字以外への変化について、適切な具体例を示せていない。
<b>批判・創造</b>	言語の記号化に肯定的立場であればそのリスクを、否定的立場であればなぜ現実としてそうになっているかを、それぞれ考察しながら活用法や課題解決に結びつけた論述をできている。	言語の記号化による利点をどう生かしていくか（自分はどう生かすか）、弊害をどう解決していくか（自分は何に気をつけるか）という未来志向の批評を展開できている。	言語の記号化によりどのような利点もしくは弊害があるかを発想できている。	文字から文字以外への変化について、文字がどういう役割を持っていたか、それが文字以外になることの長短を考えられていない。

### ◇出題意図

「文字から文字以外へ」の動きは様々な場面で実感することができる。

手紙・メール → 絵文字・スタンプ

小説 → 動画

駅名 → 路線のアルファベットと番号 など

利点として、グローバルスタンダードへの対応、ユニバーサルデザインなど、誰でも直感的に理解できるということが挙げられる。オリンピックイヤーを迎える前から国内への外国人旅行者は増える一方で、身の回りでこうした記号化が進んでいることは実感できるはずである。

一方で、言語活動が乏しくなっていくことで、語彙力・読解力の不足が進んでいくことも想定できる。言葉の代わりに絵文字で伝えようとしても、そもそもの絶対数が異なる。伝えたい情報がうまくにしか伝えられないということも考えられる。

こうした世界の流れについて、ピクトグラムの話と、上で挙げたような身の回りの例とを結びつけて自分の意見を示せるかどうかを問う問題である。